

第18回「文芸思潮」現代詩賞 中間発表 二次・三次・三次予選

●第18回「文芸思潮」現代詩賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。おかげさまで、日本全国より三六四人から作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る五月三十一日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。

無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。長いタイトル、複数タイトルは短く省略させていただきます。

北海道

- ◎「ひかり」「しおり」 古宮行恵
◎「花を愛でる」 街角 香
◎「睫毛」「夜の物語」 Columi
◎「冷たい春の夢」 柴田節子
◎「雑聞」「topology」 中村郁恵
◎「宇宙の最期」「はな」 鳴海 薫
◎「合歓木」 笹井のぶこ
◎「予感」「雲散霧消」 天沢 怜
◎「空中ブランコ」 松岡真弓
◎「たかが百年」 半田一緒
- 青森県
◎「見えるか」「笑み」 小山田良三
◎「雨」 山田真佐明
◎「川」「生きる」 さくら杏子
- 岩手県
◎「絶望の向こう側で」三浦恵子
◎「さよなら、悲しみ」銀森そのみ
- 宮城県
◎「わたしたちに明日はない」 鴉 變 諒
◎「自信論」「罪と罰」 1623
- 秋田県
◎「かないっ」たに たにo
■山形県
◎「夏の病院」 美里伊史土児
◎「活火山箸」 このみのこ
- 福島県
◎「道化師のキモチ」 ねこたま
◎「桃色の挨拶」「祈り」「問」 有明
◎「資性」「淡候」「隻情」 菅野 望
◎「静謐の繭」 由木名緒美

茨城県

- ◎「五月の思い」 立谷正男
◎「水溜まり」 井川水穂
◎「雨の涙」「不可侵領域」 樗若葉
◎「光る産声」 天ヶ谷麗
- 栃木県
◎「タルパ」「時間」 春海
◎「生命」「水の音」「椿」 ばなな
◎「目覚め」「てつぼう」 辻 洋一
- 群馬県
◎「昔の話」「天上理球」 富田永美
◎「孤児」「永遠の糸」 snook
◎「四月の空から」 岡部 隆
◎「木蓮」「失楽園」「春の詩」 新夏
◎「予定」 百年ねたろ。
◎「こぶたのこうしん」 天雨 稜
- 埼玉県
◎「夜叉」「水溶性」 坂井 傑
◎「モンスタークレーマー」なんかいらない！
◎「夢の一日」 北川 聖
◎「華を悼む」 剣城かえで
◎「ミトコンドリア」 ハルカマン
◎「欠けがある運命」 大友紅蔵
◎「羽化」「青春ノ病」 一橋省吾
- ◎「のまれる」 niharu
◎「最後の歌のあとに」 赤津龍之介
◎「閉じた瞳の微笑み」 浜蘭 遼
◎「三羽の三足の鳥」 福永十津
◎「影」「今日」 城 雨音
◎「時」 南 大希
◎「池袋駅、午後二時」 北村灰色
◎「秋のうた」 光井すず
◎「あなた」「追憶」 森奥モフ子
◎「勿忘草」「有彩色」 花咲かおる
◎「ボタン」「アオゾラ」 Iohero
◎「凱歌」「波浪」 秋葉政之
◎「遮断機のほうへ」 渡部榮太
◎「いらく」「豊穣」 向坂くじら
◎「日雇い労働者」 巳月 琳
- 千葉県
◎「自分で考えろ」 Ika
◎「水の雫」「線香」 水沢朱実
◎「悲鳴」「雪の涙」 角田和美
◎「言葉」 深山麻衣
◎「娘の証明」 田辺なつき
◎「小鳥の消えた真昼の樹の下で」 森下万尋
◎「迷える子」「惑い星」 ヤス
◎「月めくるいのち言葉」 てるてる

第18回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

- ◎「呼び出し音」 よしおかさくら
◎「クロン」 葉師九怜央
◎「母よ」 朱夏院
◎「神様の助け舟」 水本 雨
◎「坂を下る」 五十月彩
◎「キラチューン」 七まどか
◎「南中」「影」 相河史哉
- 東京都
◎「人生」「安住の地」 霜月愛子
◎「湖面の宴」 岡部将生
◎「僕は戦争を知らない。」 市川太一
◎「もっと光を」 徳年
◎「各駅停車」 械冬弱虫
◎「輪廻」「忘却の先」 塩入和幸
◎「雨」 那月
◎「春」「幼い海の色」 竹村 啓
◎「てのひら」「掌」 向日 葵
◎「野良の住処」 庄司直也
◎「涙の塊」 遠藤芳子
◎「少女、呼吸」 及川るな
◎「スケッチブック」 葵 恵子
◎「祈り」「ドライブ」 三宮千抄
◎「驟涙」「眺める」 芳水るびい
◎「回転木馬のシャッソン」 諸坂成利
◎「真実の行方」 今 誠
◎「探す周波数」「最後の愛」 ciel
◎「重々」 Aquira A.
◎「ぶつぶちちゃん」 南田慎一
- ◎「そのとき」 五十嵐ソフィー
◎「蠟燭」「うみ」 鳥林優花
◎「石棺の町」 松本昂幸
◎「コヒー」「コヒー2」 告春
◎「ゆがんだ街」 加澄ひろし
◎「白い睡り」 ケイトウ夏子
◎「返事をして惑星」 片岡周子
◎「浦戸よ 練り子よ」 佐久間行
◎「オープン」 沓貫亨治
◎「ふくらむ月」 有門萌子
◎「ある47の詩集」 土方拳司
◎「天気」「時間」 八番目の兎
◎「出逢い」「苦悶」 流羽・烏狼
◎「俺の心はどこに在る」 大里麻尋
◎「残り香」 中西勇貴
◎「新天地」 おきゆうぐま
◎「夢」 菅沼華佳
◎「hanabi」 渡辺八畳
◎「炎陽」「錦秋」 河合麻衣
◎「ぼくだけが夏、夏。」 紺野 真
◎「青春を飲む」 日向鷗
◎「精神臨界」 佐々木愛淳
◎「つよさをください」 皇 朝子
◎「一步」「登高」 清水一美
◎「無名無為誰知其形」 清水達也
◎「十七時」「深閑」「悲恋」 壺中天
◎「正しい嘘」 てづかかなこ
◎「優しいさ」「うしろ」 愛香
◎「子犬が言う事には」 松木 瓜
◎「ねずみとライオン」 みゆう

■神奈川県

- ◎「かまいたち」「夜叉」 津島一馬
◎「嘘」「駆け落ち」 金城真喜子
◎「揺れ」「自転」 雨霧あめ
◎「街のアルバム」 窪野みち子
◎「季節邂逅」 遠藤月尾
◎「閃光」「不在届」 可不可
◎「人魚」「15」 中島裕子
◎「蠟燭」「恩人」「の前」 麻
◎「万年筆と白衣」そらごとつむぎ
◎「産まれておいで」「懺悔」 ぽに
◎「手を握る」「守る」 尾亦加代子
◎「紫陽花」 丸田ひろ子
◎「われのみそしる」 円山なのめ
◎「待つ」「沈黙」 間篠牙映子
◎「縞瑪瑙」「炎舞」 野口春香
◎「波」「半鐘」 柊月めぐみ
◎「着地」 弟子丸博道
◎「子どもの私が死んだとき」「捧ぐ」 茉莉亜・ショートパス
◎「汚染」「化粧」 寝癖
◎「ある夏の夜、目を留めて」「座敷童との対話」 石橋直樹
◎「モンゴルの民」 河合祥一
◎「オータム」 惺 奏
◎「変化」「紫陽花」 白井鶴乃
◎「なつの抜け殻」 い川ちづる
◎「おぼれた魚」「鴨川」 南北東西
◎「いたみ」 小林 岳
◎「華胥」「冬の日」 岡田佑樹
◎「墓をのみこむ」 赤津将太
- ◎「紫陽花」「凡」「無垢」 福井雅人
◎「味噌がらみ料理歌」 伊藤石魚
◎「異常印象遺書以上」 古林 暁
◎「死の想い」「別離」 佐藤 裕
◎「愛の泉」「夕焼け」 美加あゆみ
◎「蒼色」「優」 ほかのなにか
◎「記憶の途中」 松原泰子
◎「忘れな草」「邂逅」 奈加典子
◎「無限と琴線の詩」 神崎琴音
◎「カカシ」「くらげ」 芳井尊彦
◎「オーバードライト」 華賀 透
◎「夜の停留所」 脇川夜人
◎「つばめ」「孤独」ながもり正樹
◎「パレード」 いしぜきいこ
◎「ラ・メール」 鈴木一萩
◎「溢れる汽車」 鬼尾聖来
◎「最後は笑顔で」 内山健太
◎「彼が去った部屋」 文鳥厚子
◎「かけら」「送るよ」 定食亭定吉
◎「最愛」「しわざ」 河野真優
◎「フラワーワールド」 杜山美帆
◎「苔の力」「果立ち」 横井純子
◎「還る場所」 館 友利
◎「暗号世界の神見習い」 ヨクト
◎「雑草」「針穴写真機」 夕月
◎「隙間を泳ぐ」 実川阿仁
◎「赤い月」 横山友海
◎「落差」「同時性」 水無川渉
◎「春恋」「重点」 龍郷みさき

- 「なんナノ？」 日野ひか梨
 「焼失する夜」「女」 島畑まこと
 「喪の仕事」 晶子
■新潟県
 「桜魚」「享受」「向勢」川名 淳
 「全押韻詩」 伊藤テル
 「進化術」 super mistio
 「スランラン・フラン」 秋野みぎわ
■富山県
 「くちぬおもい」 のりまき美土
 「ない言葉」 有澤かおり
 「生と死を」 添美
 「歩道」「星の夜」 西東 一
■石川県
 「父の戦い」 吉井 裕
 「六月の雨」 中村 隆
 「あの日の記憶―仙台空港にて―」 酒井恵三
 「ミツバチ」 裏路地ドクン
■福井県
 「跪拝」「雨音」 立一 祐
■山梨県
 「特急列車」 田中浩司
 「花束」「二月の雪」 倉沢辰子
 「Soulmate」 上原翔子
■長野県
 「母ちゃんに会いたい」 小田純子
 「外套膜」「哺乳瓶監禁」野葛間
 「土葬」「ボタジエ」 妻咲邦香
 「おらざるを得ないは」うちゅう。
 「煙る峰」 日高志路
 「神歌」 櫻井ゆき
 「薄氷」「依存症」 境 うか
■奈良県
 「はがきのツリー」 中牟田智子
 「星」「I don't forget」インバ
 「探し物のついでに」三日月ユキ
 「ぎんざ」「海岸」「黒猫」山原明
 「海。にて」「残光」 有原悠二
■鳥取県
 「バンジージャンプ」宮下諒太
■島根県
 「たれる」「雫」 橘いずみ
■岡山県
 「冬の記憶」 さくひまわり
 「声」「安国」 ひとはなお
 「どこかでみた死」 珠芽めめ
 「今際」「風船と私」 加藤百萌
 「何処までも……」 桜街スピカ
■広島県
 「眼」 苑田有子
 「切符の在りか」 楽廉太郎
 「赤い毛糸」 まったりねずみ
 「月夜の人魚の解剖学」神崎梨花
 「日向ぼっこ」 はしのぶしげ
 「寒夜」「あの空」 川咲道穂
 「囀りの糸」 渡島美智江
 「トレドミン」 河内銀太
 「きりさめる」 いまだまりこ
 「雨粒」「いつか」 林 乃花
 「彷徨」「浅風」「変(死)態」
 しろしらみずうずのどかとか
■岐阜県
 「鬼ごっこ」「染める」中原賢治
 「滅びるね、人間は」岩崎 明
 「みぞれとやら」 下原整走
 「湿ったパンツ」 志摩木冬
 「歩く」「志野の大皿」野尻隆平
 「独裁か自由か」「怪」磯村昭和
■静岡県
 「浦風」「山登り」 水野次郎
 「百日紅」「雨後」 田村全子
 「パンドラの蓋」 橋本由紀子
 「清らかに強かに」 後藤敏斤
 「最果てには」「死人」伊吉マリ
 「産声ーロココの天命」小山修一
 「杖」「土に眠る」 中道侶陽
 「マーズ」「蒼空セラフ」テルル
 「遺書と言葉遊び」 横須賀聖太
 「あの日の少年」 もとそよと
 「呼吸」「射精」「朝」細田泰生
 「血の翼賛」 世秋恭之介
■愛知県
 「夢」「水」 湖崎弥津恵
 「クラウド共有」 涼宮さき子
 「人間の終焉」 舟橋空兎
 「確執」「鮭」「戦」 麻生ゆり
 「蜿蜒」 林 やは
 「ゆらり」「システム」 松永悠希
■山口県
 「Observer」 鈴木南車
 「48」「父母ヶ浜」 高見澤更紗
 「ガオー」「ガオー」 大村 将
 「ディアボロだもれ」むがもち
 「青春の華」 織野ノリオ
 「ケスラーシンドロームの夢を見た」 晴野康史
■徳島県
 「市街」 静川雅史
■香川県
 「秘奥の花」「犀」 村上文緒
 「戦争と平和」 濱崎恭子
 「人民に奉仕する」 砂岩龍次
 「出会い」 咲華
■高知県
 「君がふるさと」 小松理江
■福岡県
 「あなたの風」 Rosy
 「まあね ヒヤトイは」あつくん
 「折り合い」 前原義郎
 「朝の散歩」 吉岡幸一
 「都市」「寄生回生」 久利潤保
 「顔」「空」「宙」 十路田道広
 「押し花」 若松橙花
 「光の瀧壺」「舟」 梶原佑心
 「原安心」 山下雅史
 「独白」「盆と花火」 遊亀宏一

- 「傘」 デイカー沙実
 「今はまだ他人事のお話」 南月
 「身体に残る幸せ」 ひだか真苑
 「まどろみは狂気」 はるのふみ
 「グロッサリーのにおい」
 「片想い」 高倉麻耶
 「砂漠」「世」 櫻井 紬
■三重県
 「時」「へいわのうた」 岩谷隆司
 「櫻と蜘蛛」 福田ニコラス
■滋賀県
 「うしろから」 馬淵兼一
■京都府
 「月」「レンゲ」「寓話」戸田和樹
 「夕方から夜にかけて」日下直哉
 「デスロール」 設楽いくこ
 「しらふのくるい」 藤城 藍
 「ただそれだけで」 月森文
 「恋」「足止め」「半身」八柳 棕
 「タイムカプセル」 遼谷颯太
 「愛について」 山口たおず
 「本当にね」 黒沢ライト
 「明け」「暮れ」 吉野狼花
 「心および砂漠」 ヴェナート
 「星」「風車の朝」 加納来菜
■大阪府
 「小舟」 日々野いずる
 「詩と共に味わう名画」牧 博
 「星あそび」「無言」 Rata
 「夜は容赦なくやって来る」 村雨巧夢
 「作り話」「海へ」 田中千代
 「異国の思い出」 夏宝洛
 「あつというま」 三舟いと
 「黒光の乱反射」 月野紫月
 「震える手」 やまもこれいこ
 「底なし沼」 三好由美子
 「流線型のお母さん」 木葉 揺
 「あなたの骨」 愛羽 文
 「現象群」「アルミ缶」 水縹 悠
 「霧」 中尾裕次郎
 「死んでいるひとのお墓に入る」 空見タイガ
■兵庫県
 「支柱」「傷の葉」「流風」 柚詠
 「枝さき」 北原 満
 「松ぼっくりの歌」 土室寧二
 「昨日の少年」 横本大将
 「その世界と、と、と、と、世
 界」 梶原大賀
 「感謝」 かわもとしんたろう
 「腐りゆく手紙」 入間しゅか
 「流雪」「彼方へ」 東風佳子
 「嫉妬」「駆けてくる」 青木 周
 「木簡の詩」 寺澤さおり
 「四季なし」「手紙」 近藤太一
 「ブライド放棄宣言」 花果 雫
 「帰郷」「受験の日」 春野太郎

詩の添削指導

詩人集団 J

第一線詩人による懇切な添削指導

文芸思潮編集部や第一線詩人が、あなたの詩を読み、丁寧に指導します。
 あなたの詩作力、Poemに込める言葉の力、表現力がパワーアップされます。
 面談も可能。詩の方向、創作のヒントもアドバイスしてくれます。
 あなたの詩を詩人集団 Jにお送り下さい。
 連続しての指導もあります。

1 編 (A4 / 2 枚以内) 4000 円

2 篇 (A4 / 5 枚以内) 7000 円

※力がアップし優秀な作品は文芸思潮に掲載します。

お問合せ・お申込み・詩の送付は右の事務局へどうぞ

詩人集団 J 事務局

〒158-0083 東京都世田谷区

奥沢 7-15-13

アジア文化社内

TEL03-5706-7847

- 佐賀県
○「盲目のピアノリスト」 麻倉 潤
- 長崎県
○「春雨の君」「赤糸」 桜 雪月
- 熊本県
○「聖域の地上げ屋」 田中傲岸
○「平々凡々」 高浜富士夫
○「極楽浄土」 Keisai
○「愛する」「再生」 絹本ゆい子
- 大分県
○「標本」「在処」 滄海なおと
○「銀髪美犬ひと撫で」 岩尾宏紀
○「永遠」「磔刑」 横川五歩
- 宮崎県
○「花束」「青空」 松尾恵美子
○「堤防」 くらやまこういち
○「泣く女」 池山弘徳
- 鹿児島県
○「春うらら」 山中 六
- 沖縄県
○「ミミズの眩き」「友よ」 林 慈
○「花」「星」「ママ」 天乃咲南
○「雨とポリバケツの麻酔」 謝花希代
- 「天水茶」 あさこよしや
○「タンガニーカ湖」 荒井 青
○「鉛筆を削る」 占部無知加
○「母の日」 元澤一樹
○「スノードーム」 ずんやまずん子

謝辞

「文芸思潮」現代詩賞にご寄
りをいただきました。誠にあ
りがとうございました。今後
とも日本の文芸復興のために
努力して参ります。

金二万八千五百円
松田 蛉 様

第18回「文芸思潮」現代詩賞中間発表

●応募者の皆様へ

第一次・第二次・第三次の選考につ
いて

第18回「文芸思潮」現代詩賞への
御応募まことにありがとうございます
す。第一次・第二次・第三次選考に
ついて選考委員会より付記させてい
ただきます。

第一次予選の選考基準は、詩の言
葉になっているかどうかが最重要の
基準点となります。またさらに訴え
る姿勢や言葉の強さも加味させてい
ただきました。詩の言葉としては硬
度が足りなかったり、やや稚拙であ
っても、他者に訴えたい切実なもの
が強く感じられる作品は一次を通過
しています。一次予選通過には、何
%とか、何篇以内とか、数字の枠は
ありません。したがって、応募者全
員が一次予選合格ということもあり
得ます。

また第二次予選は、その中でさら
に強く何かが感じられるもの、詩の
形としてしっかり翼を得ているも
の、言葉の光るものが選ばれます。
一行でもいい、一句でもいい、何か
一つ心に残る新鮮な言葉、結晶度の
高い言葉があるかどうか、心の真実
がこもっているかどうか、思いとし
て滑空しているかどうかポイント

になります。

第三次予選は、よりたくさんの人
に読んでほしくなるような普遍的な
表現力を備えているかが、選考の基
準になります。詩としてたくさん人の
人に読んでほしい普遍的な生命
力を持っているかどうかポイント
です。できれば人の心に残って新た
な力になるような魅力も備えている
と推しやすくなります。方法として
斬新なものも注目ポイントとして加
えられることもあります。

「文芸思潮」選考委員会では、選考
の便宜性のために通過作品数を何編
以内と制限するのではなく、あくま
で作品の内容を重視して、優れた作
品がたくさんあれば、できるだけそ
の作品の価値やレベルによって、作
品を残すよう心がけています。した
がって、場合によってはたくさん選
出される可能性もあります。

どうかこれらの点を御了解くださ
いますようお願い申し上げます。ま
た次回もどうかこのことを念頭にお
いて御応募いただけましたら幸いで
す。

（文芸思潮」現代詩賞選考委員会）